

令和5年度

学校評価の結果と考察



阿南市立椿町中学校

令和5年度 学校評価アンケート結果

1 回答者	回答数(人)	回収率(%)
保護者・学校評議員	18	69.2%
生徒	10	90.9%
教職員	9	90.0%

アンケートの集計結果はパーセント(%)で示し、提出できなかった方または回答が難しく空欄での提出の項目については「無回答」の集計欄に含めた。

2 調査方法

12月5日にアンケートを配布し、学校評価の質問項目に無記名で回答していただき、封筒に入れて12月15までに回収した。生徒は、同時期に無記名で回答、その場で回収した。

3 回答方法

各質問項目に対して「そう思う」「ほぼそう思う」「あまり思わない」「思わない」の4段階で回答してもらい、「そう思う」「ほぼそう思う」を肯定的な意見、「あまり思わない」「思わない」を否定的な意見として調査結果を分析した。

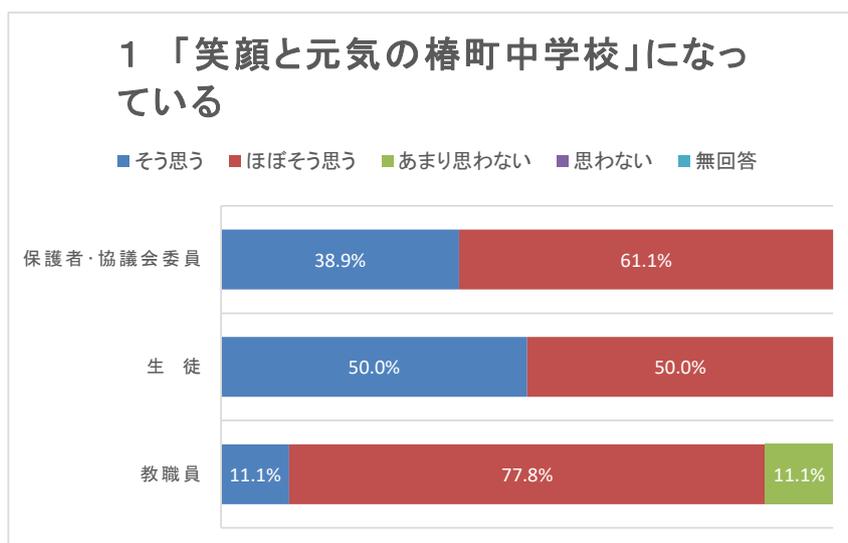
4 結果の活用

調査結果をとりまとめ、全ての教職員・保護者・学校運営協議会委員に配付し、課題と改善点を明らかにする。保護者・学校評議員に対しては、学校便りに結果や改善点を掲載したり、アンケート結果を送付したりして公表する。アンケート結果は令和6年度の学校運営や教育方針、重点目標に反映させ改善を図っていく。

グラフの見方 (グラフ内の数字はパーセンテージ)

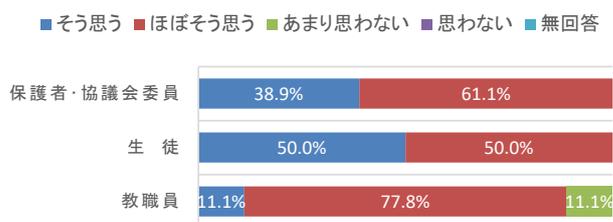
(例) 1 学校評価に対する質問項目

	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答
保護者・評議員	38.9%	61.1%			
生徒	50.0%	50.0%			
教職員	11.1%	77.8%	11.1%		

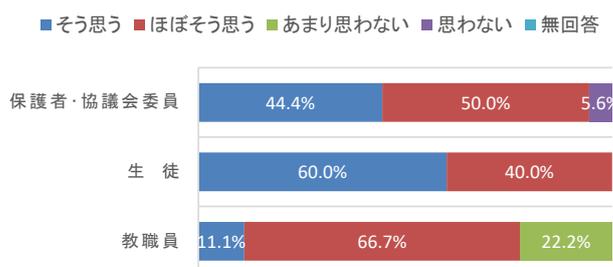


学校生活・生活指導

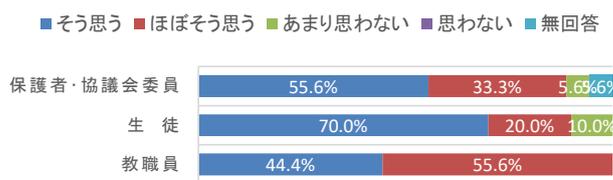
1 「笑顔と元気の椿町中学校」になっている



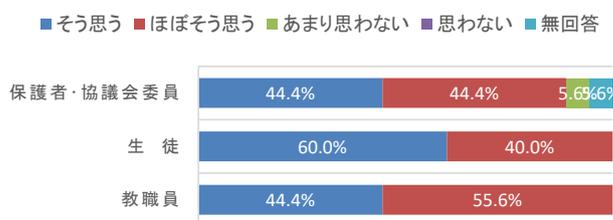
2 よくあいさつができています



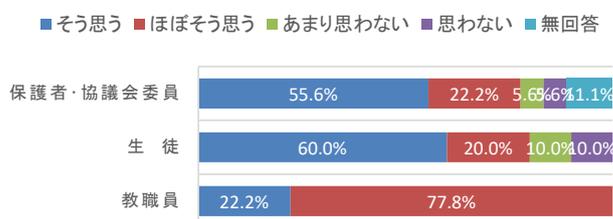
3 遅刻をしないなど時間を守って生活できている



4 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる



5 提出物を忘れずに出している



「学校生活・生活指導」について

○本年度も、本校のスローガン『笑顔と元気の椿町中学校』への高い評価を得ることができました。昨年度に増して、保護者・協議会委員から肯定的な回答が得られました。来年度も小中一貫教育を進めながら、楽しい学校を目指します。

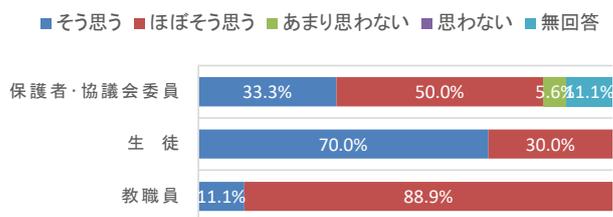
○保護者・協議会委員、生徒から「よくあいさつができています」の肯定的な回答が得られました。しかし、教職員からは「そう思う」の回答の割合が小さくなっています。地域や保護者の力を借りながら、少人数ながら気持ちのよい挨拶ができる学校を目指して、今後も指導を続けていきます。

○「時間を守って生活できている」「困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる」については、昨年度と同様に、概ね肯定的な回答が得られています。

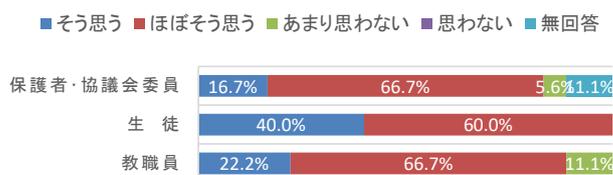
○保護者・協議会委員、生徒の「提出物を忘れずに出している」の肯定的な回答の割合が昨年度よりも大きくなっています。来年度も保護者・協議会委員、生徒の「提出物を忘れずに出している」肯定的な回答80%以上をめざすとともに、特に宿題については教職員が生徒への計画的な宿題の出し方を工夫したり、提出の期日をしっかりと明示させていただきます。保護者・協議会委員で「提出物を忘れずに出している」の無回答があるのは、協議会委員が評価できないためであると考えられます。

学力・学
習指導

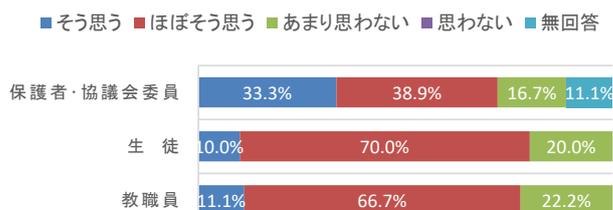
6 先生は楽しくわかりやすい授業ができている



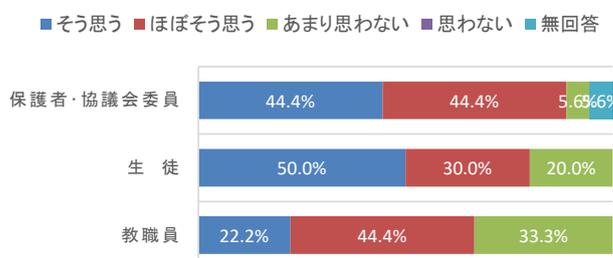
7 ICTを活用した教育によって授業がわかりやすくなっている



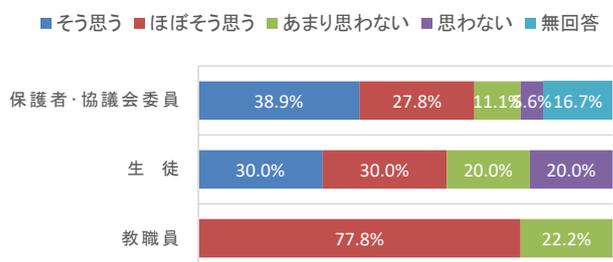
8 授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている



9 表現力がついている



10 毎日家庭学習をしている



「学力・学習指導」について

○生徒の「先生は楽しくわかりやすい授業ができている」の「そう思う」の回答70.0%の高い評価となっています。今後も授業改善に取り組み、わかりやすい授業を実践していきます。

○保護者・協議会委員の「ICTを活用した教育によって授業がわかりやすくなっている」は昨年度と同様の回答になっています。生徒、教職員は肯定的な回答の割合が昨年度よりも大きくなり、GIGAスクール構想によるICT(Ipad)を授業で活用する機会が多くなったことが理由と考えられます。次年度は生徒の「そう思う」の回答60%以上をめざし、校内研修を進め、教職員のスキルアップを図っていきます。

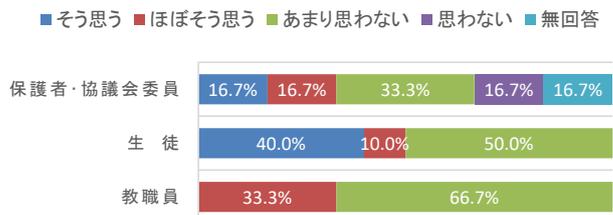
○保護者・協議会委員、生徒の「授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている」の「あまり思わない」の回答の割合が大きくなっていきます。肯定的な回答を増やしていくためにも、日常生活と関連づけた授業改善を実践していくとともに研修を進めていきます。

○「表現力がついている」は「あまり思わない」の回答の割合が大きいです。毎日の授業や学校行事等で生徒一人ひとりが活躍し表現できる機会を今後も継続し、自信を持って自分の意見を表現できる力を身につけていきます。

○「毎日家庭学習をしている」の肯定的な回答が比較的少ない結果となっています。質問項目のなかの「毎日」という部分で厳しく評価がなされていると考えられますが、毎日の家庭学習が学力向上につながるため、今後も家庭学習の定着指導を充実させ、肯定的な回答80%以上をめざします。

学力・学
習指導

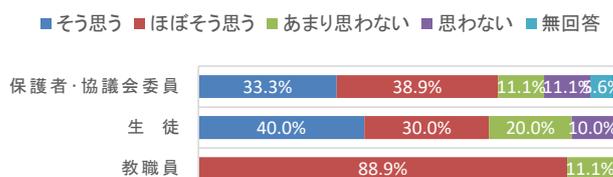
11 朝読書以外にも読書をしている



○すべての調査対象において「朝読書以外にも読書をしている」の否定的な回答が肯定的な意見を大きく上回っていますが、昨年度に比べると、生徒は肯定的な回答が増えています。学校図書や巡回図書を活用し、休み時間などに読書をする機会が増えつつあると考えられます。

進路指
導・キャ
リア教育

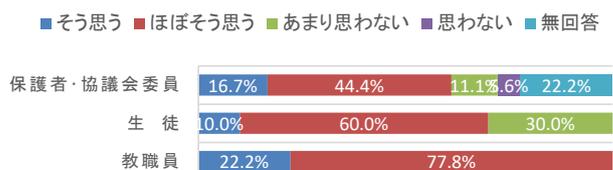
12 職業や進路について学んだり、自分で調べたりして、将来の職業(進路)を考えることができた



「進路指導・キャリア教育」について

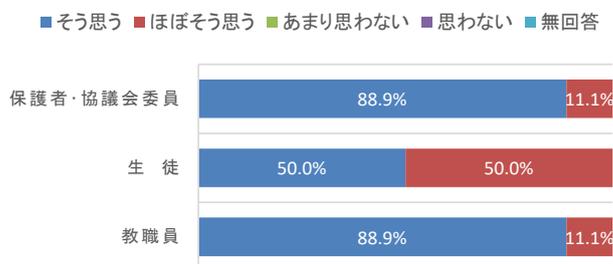
○保護者・協議会委員の「職業や進路について学んだり、自分で調べたりして、将来の職業(進路)を考えることができた」の肯定的な回答の割合が昨年度に比べて大きくなっています。本校のキャリア教育について、学校ホームページや学校便りでの情報公開ができているためであると考えられます。

13 キャリアパスポートの目標設定と振り返りなどの取組により、自信がついてきている



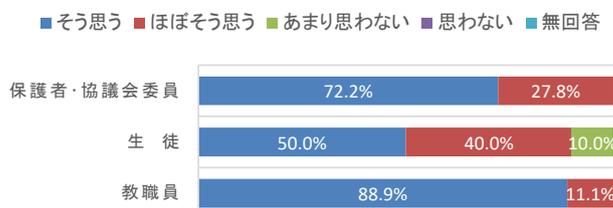
○生徒の「キャリアパスポートの目標設定と振り返りなどの取組により、自信がついてきている」の肯定的な回答が比較的少なくなっています。肯定的な回答80%以上をめざし、今後もキャリアパスポートを活用して振り返りを行うなかで主体的に学ぶ力をはぐくみ、生徒の自己実現につなげていきます。

14 自分にはいいところがある



○全ての調査対象において生徒の「自分にはいいところがある」の肯定的な回答が得られています。今後も自己肯定感を育てる体制を維持し、肯定的な回答80%以上をめざします。

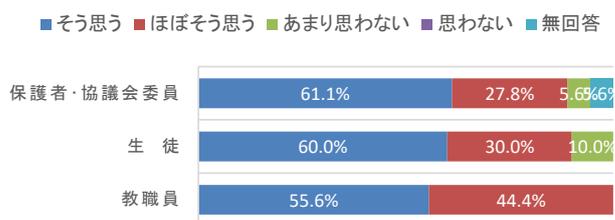
15 自分は誰かの役に立っている



○昨年度に比べて、生徒の「自分は誰かの役に立っている」の肯定的な回答の割合が大きくなっています。今後も自己有用感を高める体制を維持し、肯定的な回答80%以上をめざします。

特別活動

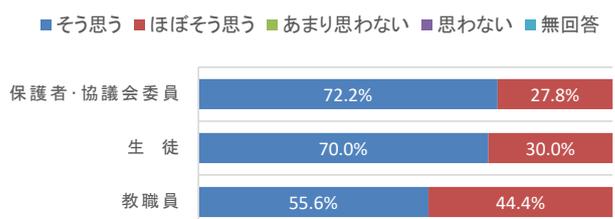
16 学級に自分の役割があり、意欲的に活動している



17 生徒会や専門委員会に自分の役割があり、意欲的に活動している



18 学校行事は楽しく、充実したものとなっている



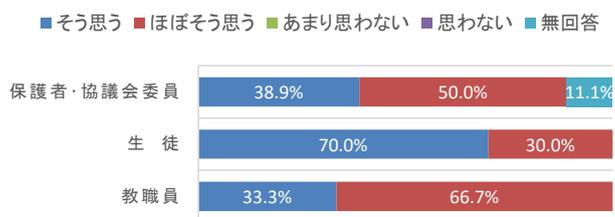
「特別活動」について

○保護者・協議会委員，生徒の「学級に自分の役割があり，意欲的に活動している」は，昨年度よりも「そう思う」の回答の割合が大きくなっています。少人数のため，生徒一人ひとりが担う役割が多い中，生徒は意欲的に自分の役割に取り組んでいると考えられます。

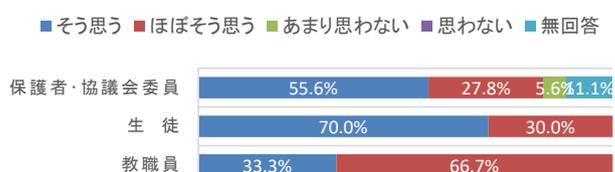
○「生徒会や専門委員会に自分の役割があり，意欲的に活動している」「学校行事は楽しく，充実したものとなっている」はすべての調査対象において肯定的な回答となっています。コロナが5類となり，だんだんとコロナ禍前の活気あふれる生徒会活動や学校行事が実施できたためと考えられます。また，地域や保護者の方，小学生との交流も増えたためだと考えられます。今後も地域や保護者，小学校との協力を得ながら，魅力ある学校づくりに向けて取り組んでいきます。

人権教育

19 いじめのない学級(学校)づくりをしている



20 人権学習では，自分や相手の良さを認め合い，差別をなくす学習を行っている



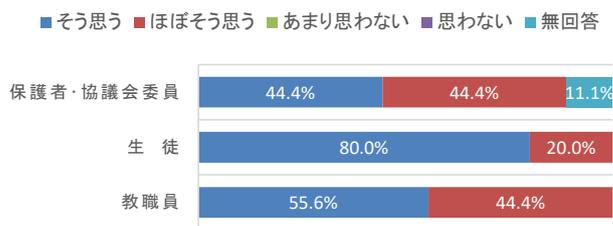
「人権教育」について

○「いじめのない学級(学校)づくりをしている」「人権学習では，自分や相手の良さを認め合い，差別をなくす学習を行っている」では肯定的な回答が多いものの，昨年度に比べて「そう思う」の割合が少なくなっています。普段の学校での道徳授業の充実を図り，生徒の自尊感情を高め，本校の教育目標達成のための基本方針である「自分や相手の良さを認め合える仲間づくり」に全力で取り組んでいきます。

<p>部活動等</p>	<p>21 部活動や朝の陸上練習に意欲的に取り組んでいる</p> <p>■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>そう思う</th> <th>ほぼそう思う</th> <th>あまり思わない</th> <th>思わない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者・協議会委員</td> <td>50.0%</td> <td>27.8%</td> <td>11.1%</td> <td>11.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>70.0%</td> <td>10.0%</td> <td>20.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>22.2%</td> <td>77.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答	保護者・協議会委員	50.0%	27.8%	11.1%	11.1%		生徒	70.0%	10.0%	20.0%			教職員	22.2%	77.8%				<p>「部活動等」について</p> <p>○ 「部活動や朝の陸上練習に意欲的に取り組んでいる」は保護者・協議会委員，生徒の評価が昨年と比べて下がっています。意欲的・積極的に取り組むという点では十分ではないため，目標を持たせ，課題を明確にし，部活を通して心身ともに成長を感じられる活動にしていきます。</p>
回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答																					
保護者・協議会委員	50.0%	27.8%	11.1%	11.1%																						
生徒	70.0%	10.0%	20.0%																							
教職員	22.2%	77.8%																								
<p>安全教育・環境教育</p>	<p>22 防災学習や交通安全指導があり，命を守る学校になっている</p> <p>■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>そう思う</th> <th>ほぼそう思う</th> <th>あまり思わない</th> <th>思わない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者・協議会委員</td> <td>50.0%</td> <td>33.3%</td> <td>5.6%</td> <td>11.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>50.0%</td> <td>50.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>22.2%</td> <td>77.8%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答	保護者・協議会委員	50.0%	33.3%	5.6%	11.1%		生徒	50.0%	50.0%				教職員	22.2%	77.8%				<p>「安全教育・環境教育」について</p> <p>○ 生徒の「防災学習や交通安全指導があり，命を守る学校になっている」は肯定的な回答となっています。教育目標達成のための基本方針である「命が守られ安心安全な学校づくり」をめざし，今後も命を守る教育を進めていきます。</p>
回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答																					
保護者・協議会委員	50.0%	33.3%	5.6%	11.1%																						
生徒	50.0%	50.0%																								
教職員	22.2%	77.8%																								
<p>安全教育・環境教育</p>	<p>23 校舎内外の環境が整備され，設備は安心で安全である</p> <p>■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>そう思う</th> <th>ほぼそう思う</th> <th>あまり思わない</th> <th>思わない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者・協議会委員</td> <td>22.2%</td> <td>55.6%</td> <td>5.6%</td> <td>16.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>40.0%</td> <td>50.0%</td> <td>10.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>33.3%</td> <td>66.7%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答	保護者・協議会委員	22.2%	55.6%	5.6%	16.7%		生徒	40.0%	50.0%	10.0%			教職員	33.3%	66.7%				<p>○ 保護者・協議会委員，生徒の「校舎内外の環境が整備され，設備は安心で安全である」では，肯定的ではない回答が見られます。校舎が比較的古いと考えられますが，毎月20日の安全点検と修繕，清掃活動を充実させ，生徒が安全に，安心して学ぶことのできる学校をつくっていきます。</p>
回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答																					
保護者・協議会委員	22.2%	55.6%	5.6%	16.7%																						
生徒	40.0%	50.0%	10.0%																							
教職員	33.3%	66.7%																								
<p>安全教育・環境教育</p>	<p>24 自転車に乗るときはヘルメットをかぶっている</p> <p>■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>そう思う</th> <th>ほぼそう思う</th> <th>あまり思わない</th> <th>思わない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者・協議会委員</td> <td>83.3%</td> <td>11.1%</td> <td></td> <td>5.6%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>90.0%</td> <td>10.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>100.0%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答	保護者・協議会委員	83.3%	11.1%		5.6%		生徒	90.0%	10.0%				教職員	100.0%					<p>○ 「自転車に乗るときはヘルメットをかぶっている」はすべての調査対象において肯定的な回答となっています。評価のとおり，生徒は自転車に乗るときはヘルメットをかぶっており，交通安全・交通ルール遵守の意識が高いと考えられます。今後も道路交通法に則った交通安全指導を続けていきます。</p>
回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答																					
保護者・協議会委員	83.3%	11.1%		5.6%																						
生徒	90.0%	10.0%																								
教職員	100.0%																									
<p>保健指導</p>	<p>25 保健指導や食育指導から，自分の健康な心身を保つことができている</p> <p>■ そう思う ■ ほぼそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 無回答</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回答者</th> <th>そう思う</th> <th>ほぼそう思う</th> <th>あまり思わない</th> <th>思わない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者・協議会委員</td> <td>38.9%</td> <td>44.4%</td> <td>5.6%</td> <td>11.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>60.0%</td> <td>30.0%</td> <td>10.0%</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>44.4%</td> <td>44.4%</td> <td>11.1%</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答	保護者・協議会委員	38.9%	44.4%	5.6%	11.1%		生徒	60.0%	30.0%	10.0%			教職員	44.4%	44.4%	11.1%			<p>「保健指導」について</p> <p>○ 「保健指導や食育指導から，自分の健康な心身を保つことができている」は「あまり思わない」の回答が見られます。生徒の健康な心身や生活習慣は家庭との協力が必須になってきます。今後も学校での指導や保健だよりの発行を続けていきます。</p>
回答者	そう思う	ほぼそう思う	あまり思わない	思わない	無回答																					
保護者・協議会委員	38.9%	44.4%	5.6%	11.1%																						
生徒	60.0%	30.0%	10.0%																							
教職員	44.4%	44.4%	11.1%																							

保健指導

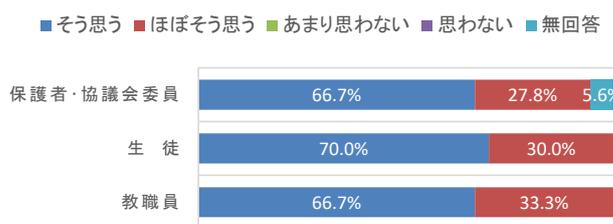
26 学校の新型コロナウイルス対策はできている



○「学校の新型コロナウイルス対策はできている」はすべての調査対象で肯定的な回答が得られています。コロナが5類に引き下がりましたが、引き続き日々の感染症対策に取り組んでいきます。

小中連携・他校連携

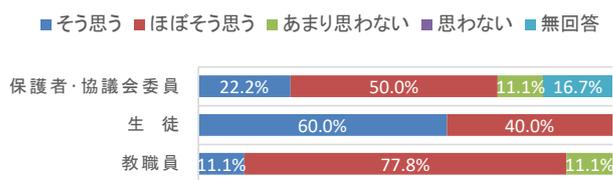
27 小中一貫教育の取組は楽しく、充実したものとなっている



「小中連携・他校連携」について

○すべての調査対象で「小中一貫教育の取組は楽しく、充実したものとなっている」が肯定的な回答となっています。昨年にも比べても「そう思う」の回答の割合が大きくなっています。コロナ前の活気のある小中一貫教育がすこしづつではありますが実践されたためであると考えられます。今後も9年間を見据えた取組をすすめていきます。

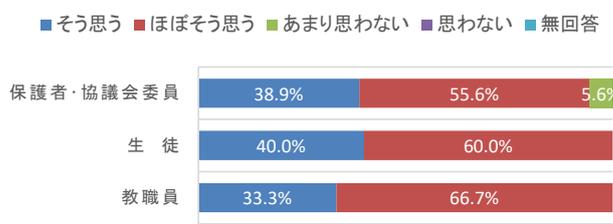
28 他の中学校との交流学习は楽しく充実したものとなっている



○「他の中学校との交流学习は楽しく充実したものとなっている」は昨年に比べると、生徒の肯定的な回答の割合が大きくなっています。今後も他の中学校との楽しい交流学习を計画し、少人数のデメリットを補っていきます。

学校公開・情報公開・地域家庭連携

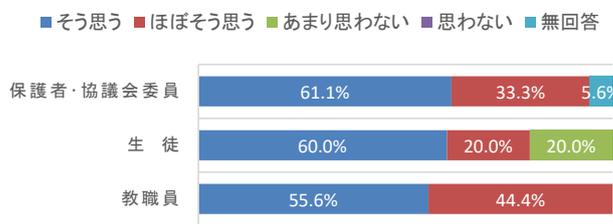
29 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している



「学校公開・情報公開・地域家庭連携」について

○「学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している」は、すべての調査対象において肯定的な回答の割合が大きくなっています。保護者・協議会委員の「そう思う」の割合が増えるよう今後も啓発を図っていきます。

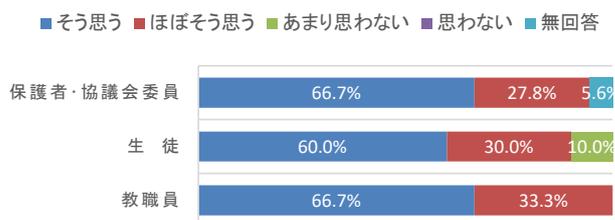
30 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している



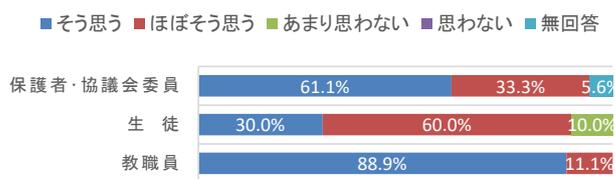
○「学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している」は生徒の中には「あまり思わない」と回答をしている生徒もいますが、全体的には肯定的な回答となっています。今後も授業参観や学校行事の公開を積極的に行い、地域と共にある学校づくりに取り組んでいきます。

学校公開・情報公開・地域家庭連携

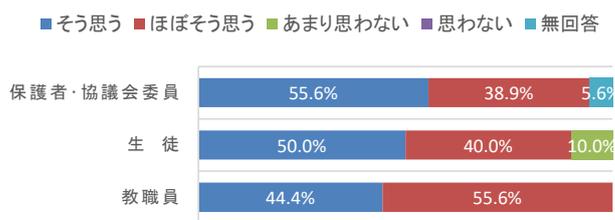
31 学校からの便りを保護者にわたしている



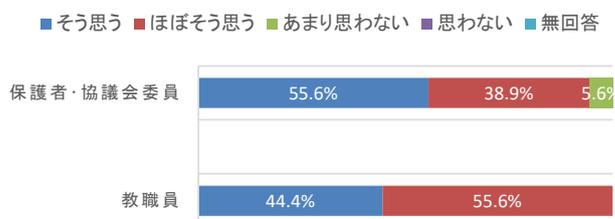
32 学校から発信される学校便りや学級通信、ホームページ等の情報は役に立っている



33 阿南市(椿町・椿泊町)というまちが好きだ



34 教職員は、保護者・地域と連携・協力できている



○「学校からの便りを保護者にわたしている」のすべての調査対象において肯定的な回答となっています。しかし、生徒の中には「あまり思わない」と回答している生徒もいるため、保護者の声かけ等のご協力をお願いしたいと思います。

○「学校から発信される学校便りや学級通信、ホームページ等の情報は役に立っている」は昨年度に比べると、保護者・協議会委員の肯定的な回答の割合が大きくなっています。今後も地域・保護者が本校教育を理解し、ご協力いただけるよう積極的な情報発信に努めていきます。

○「阿南市(椿町・椿泊町)というまちが好きだ」は概ね肯定的な回答となっています。生徒の中には「あまり思わない」という回答もあり、今後も引き続きふるさと学習等、地元と連携した教育活動を充実させていきます。

○「教職員は保護者・地域と連携・協力できている」の概ね肯定的な回答となっています。しかし、保護者・協議会委員の中には「あまり思わない」という回答もあります。肯定的な回答100%を目標に、地域とのつながりを大切に、地域とともにある学校づくりに取り組んでいきます。

椿町中学校 学校評価アンケート まとめ・年度比較

表中の数字は、「そう思う」「ほぼそう思う」の肯定的回答を合計したものです。

■	肯定的回答が80%以上の概ね満足できる項目
■	肯定的回答が60%以上80%未満の項目
■	肯定的回答が60%未満の改善が必要な項目

	質問項目	対象	令和5年度	令和4年度	令和3年度
			肯定的回答	肯定的回答	肯定的回答
学校生活・生活指導	1 「笑顔と元気の椿町中学校」になっている。	保護者・協議会委員	100.0%	88.2%	100.0%
		生徒	100.0%	81.8%	90.0%
		教職員	88.9%	100.0%	100.0%
	2 よくあいさつができています。	保護者・協議会委員	94.4%	76.5%	85.7%
		生徒	100.0%	72.7%	100.0%
		教職員	77.8%	100.0%	100.0%
	3 遅刻をしないなど時間を守って生活できている。	保護者・協議会委員	88.9%	76.5%	
		生徒	90.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	4 先生は困ったことや悩んでいることの相談にのってくれる。	保護者・協議会委員	88.9%	82.4%	
		生徒	100.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	5 提出物を忘れずに出している。	保護者・協議会委員	77.8%	70.6%	
		生徒	80.0%	72.7%	
		教職員	100.0%	100.0%	
学力・学習指導	6 先生は楽しくわかりやすい授業ができています。	保護者・協議会委員	83.3%	70.6%	100.0%
		生徒	100.0%	81.8%	100.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
	7 ICTを活用した教育によって授業がわかりやすくなっている。	保護者・協議会委員	83.3%	76.5%	
		生徒	100.0%	72.7%	
		教職員	88.9%	87.5%	
	8 授業で学んだことを生活の中で活用しようとしている。	保護者・協議会委員	72.2%	64.7%	
		生徒	80.0%	72.7%	
		教職員	77.8%	87.5%	
	9 表現力がついている。	保護者・協議会委員	88.9%	64.7%	
		生徒	80.0%	81.8%	
		教職員	66.7%	100.0%	
	10 毎日家庭学習をしている。	保護者・協議会委員	66.7%	70.6%	
		生徒	60.0%	72.7%	
		教職員	77.8%	100.0%	
11 朝読書以外にも読書をしている。	保護者・協議会委員	33.3%	29.4%		
	生徒	50.0%	36.4%		
	教職員	33.3%	37.5%		
進路指導・キャリア教育	12 職業や進路について学んだり、自分で調べたりして、将来の職業(進路)を考えることができた。	保護者・協議会委員	72.2%	52.9%	85.7%
		生徒	70.0%	63.6%	100.0%
		教職員	88.9%	100.0%	92.3%
	13 キャリアパスポートの目標設定と振り返りなどの取組により、自信がついてきている。	保護者・協議会委員	61.1%	52.9%	
		生徒	70.0%	72.7%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	14 自分にはいいところがある。	保護者・協議会委員	100.0%	88.2%	
		生徒	100.0%	72.7%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	15 自分は誰かの役に立っている。	保護者・協議会委員	100.0%	82.4%	
		生徒	90.0%	72.7%	
		教職員	100.0%	100.0%	

			令和5年度	令和4年度	令和3年度
	質問項目	対象	肯定的回答	肯定的回答	肯定的回答
特別活動	16 学級に自分の役割があり、意欲的に活動している。	保護者・協議会委員	88.9%	82.4%	100.0%
		生徒	90.0%	81.8%	80.0%
		教職員	100.0%	100.0%	84.6%
	17 生徒会や専門委員会に自分の役割があり、意欲的に活動している。	保護者・協議会委員	88.9%	82.4%	
		生徒	100.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	18 学校行事は楽しく、充実したものとなっている。	保護者・協議会委員	100.0%	82.4%	92.9%
		生徒	100.0%	81.8%	100.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
人権教育	19 いじめのない学級(学校)づくりをしている。	保護者・協議会委員	88.9%	82.4%	100.0%
		生徒	100.0%	81.8%	90.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
	20 人権学習では、自分や相手の良さを認め合い、差別をなくす学習を行っている。	保護者・協議会委員	83.3%	82.4%	100.0%
		生徒	100.0%	81.8%	90.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
部活動	21 部活動や朝の陸上練習に意欲的に取り組んでいる。	保護者・協議会委員	77.8%	82.4%	100.0%
		生徒	80.0%	81.8%	90.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
安全教育・環境教育	22 防災学習や交通安全指導があり、命を守る学校になっている。	保護者・協議会委員	83.3%	82.4%	100.0%
		生徒	100.0%	81.8%	100.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
	23 校舎内外の環境が整備され、設備は安全で安心である。	保護者・協議会委員	77.8%	76.5%	85.7%
		生徒	90.0%	63.6%	90.0%
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
24 自転車に乗るときはヘルメットをかぶっている。	保護者・協議会委員	94.4%	88.2%		
	生徒	100.0%	81.8%		
	教職員	100.0%	100.0%		
保健指導	25 保健指導や食育指導から、自分の健康な心身を保つことができている。	保護者・協議会委員	83.3%	82.4%	100.0%
		生徒	90.0%	81.8%	100.0%
		教職員	88.9%	100.0%	100.0%
	26 学校の新型コロナウイルス対策はできている。	保護者・協議会委員	88.9%	88.2%	
		生徒	100.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	
小中連携・他校連携	27 小中一貫教育の取組は楽しく、充実したものとなっている。	保護者・協議会委員	94.4%	88.2%	71.4%
		生徒	100.0%	72.7%	
		教職員	100.0%	100.0%	100.0%
	28 他の中学校との交流学習は楽しく充実したものとなっている。	保護者・協議会委員	72.2%	76.5%	
		生徒	100.0%	72.7%	
		教職員	88.9%	87.5%	
学校公開・情報公開・地域家庭連携	29 学校の教育方針や教育活動のねらいを理解している。	保護者・協議会委員	94.4%	82.4%	
		生徒	100.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	30 学校は授業参観や学校行事などを積極的に公開している。	保護者・協議会委員	94.4%	88.2%	
		生徒	80.0%	63.6%	
		教職員	100.0%	87.5%	
	31 学校からの便りを保護者にわたしている。	保護者・協議会委員	94.4%	82.4%	
		生徒	90.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	
	32 学校から発信される学校便りや学級通信、ホームページ等の情報は役に立っている。	保護者・協議会委員	94.4%	88.2%	92.9%
		生徒	90.0%	81.8%	
		教職員	100.0%	100.0%	84.6%
33 阿南市(椿町・椿泊町)というまちが好きだ。	保護者・協議会委員	94.4%	82.4%		
	生徒	90.0%	81.8%		
	教職員	100.0%	100.0%		
34 教職員は、保護者・地域と連携・協力でできている。	保護者・協議会委員	94.4%	88.2%	92.9%	
	教職員	100.0%	100.0%	92.3%	

学校評価アンケート まとめ・年度比較についての考察

本年度の教育活動の成果を図り次年度へ向けての改善に生かすために、34項目の様々な分野の教育活動を評価していただきました。アンケートへのご協力ありがとうございました。昨年度から評価項目を細分化したことにより、これまで見えていなかった新たな課題が見えてきたと感じています。

質問項目に対して、「保護者・協議会委員」「生徒」「教職員」の3つの集計結果のうち2つ以上が黄色（肯定的回答が60%以上80%未満）または赤（肯定的回答が60%未満）であれば、今年度の本校の課題とし、改善策を考えました。

次が見えてきた課題とその改善策です。

1. あいさつ

昨年度の結果と比べると、保護者・協議会委員、生徒の結果数値が上がっています。学校運営協議会等では、「生徒は地域でよくあいさつをしている」と言ってくださっていますが、教職員の評価ではまだ十分ではないと感じているものもあります。

⇒改善策

あいさつの意義指導を徹底して行い、「先にあいさつができない」「声が小さい」「あいさつ自体ができない」などが見られた場合は、その場で指導を行います。また、本校の学校教育目標のまとめである「広く社会に貢献できる人間を育成する」視点から、キャリア教育にさらに力を入れます。

2. 提出物

生徒と大人（保護者・協議会委員、教職員）の評価が分かれた項目です。

⇒改善策

項目31「学校からの便りを保護者にわたしている」と関連付け、期日を守って提出できるよう指導します。

3. 授業で学んだことを生活の中で活用

変化の激しい現代社会を自らの力でたくましく生き抜いていく人間生徒を育成するためには、重要な項目になります。

⇒改善策

「知識」を身に付けるためだけの授業にならないよう、授業の中でグループ学習等による生徒同士の話し合い活動をさらに取り入れたり、タブレット（一人一台端末）を活用した調べ学習を取り入れたりする、実際の生活場面を想定した発問を積極的に取り入れるなど、授業で生徒が身に付けた「知識」を活用して考えを深める場面を多く取り入れます。

4. 表現力

少人数ゆえの多様な意見や考え方がうまれにく状況でもコミュニケーション力が重視される中、生きる力を育むための重要な項目になります。

⇒改善策

ICTの効果的な活用方法や授業改善を行い、生徒が表現のできる学習を増やしていきます。

小中一貫教育や交流学习で多くの人とのコミュニケーションを図る活動を取り入れると共に、学校行事等で生徒一人ひとりが活躍できる機会を計画的に設け、自身を持って自分の意見を表現できる力を身につけていきます。

5. 家庭学習

高校入試を見据えた学力向上の面からも家庭学習の定着は必要不可欠です。

⇒改善策

家庭学習は習慣化が大切です。後述する「キャリアパスポートの目標設定と振り返り」の「自分自身の目標」として取り組むことができれば、習慣化へ近づきます。

6. 読書

保護者・協議会委員、生徒、教職員ともに大きく課題と感じている項目です。

毎月一度移動図書館「ひまわり号」が来校しており、生徒は学級文庫のために数多く借りていますが、十分には読書の時間がとれていないのが現状です。

⇒改善策

今後、朝の学習の時間を活用し、「ひまわり号」来校後の1週間を「読書の日」とし、集中して読書に取り組める時間を確保します。

7. 職業や進路について考える

変化の激しい現代社会を自らの力でたくましく生き抜き、社会に貢献できる人間を育成す

るためには、生徒に自分の将来についてのイメージを持たせる必要があります。

⇒改善策

キャリア教育講演会を実施し、仕事の面白さややりがいを生徒に感じさせるとともに、2年生が夏休みに行っている職場体験学習を核として職業に対する学習を継続的にを行います。また、将来の夢や職業と関連させた進路選択ができるよう、情報提供を積極的に行います。

8. キャリアパスポートの目標設定と振り返り

昨年度から始めた取組です。毎月キャリアパスポートを用いて生徒自身が考えた「自分自身の目標」と「対人関係の目標」に対して日々目標を意識して生活をします。月末に自己評価を行い、「できた」という感覚を持たせることで、自信をもたせ、自己肯定感と自己有用感を養う取組です。この自信や自己肯定感・自己有用感が「社会に貢献できる人間を育成する」根本になると考えています。

⇒改善策

来年度も保護者・協議会委員の方々には、学校通信を通じて生徒の目標設定と自己評価結果を継続して公表していきますので、生徒への声かけ等励ましをお願いします。

生徒に対しては、その意義指導を繰り返し行い、自信が付けられるよう教職員一同バックアップしていきます。

9. 部活動

健やかな体を育むという面で重要な項目です。

⇒改善策

意欲的・積極的に取り組むという点では十分ではないため、しっかりとした目標を持たせ、課題を明確にした部活動を運営し、心身ともに成長を感じられる活動にしていきます。卓球部においては、今後も楯体協の卓球教室でのご指導をお願いいたします。

10. 環境整備・施設の安心・安全

教職員と保護者・協議会委員、生徒の評価が分かれた項目です。

校舎の老朽化は進んでいますが、生徒・教職員とも熱心に清掃活動に取り組んでいます。

⇒改善策

故障箇所等の迅速な修繕を心がけます。

また、学校内外の美化活動に今以上に取り組みます。

学校公開時には、保護者・地域の方々も積極的に中学校に足を運んでいただき、学校の様子・生徒の様子をご覧ください。

11. 他の中学校との交流学习

本年度は、阿南市中学校音楽祭に福井中学校と合同で参加しました。また、福井中学校との交流学习としては3年生合同の科学センター理科学習、3年生合同の香川方面への遠足も実施しました。互いに良い刺激となり、学習活動に取り組んでいました。

⇒改善策

次年度も阿南市中学校音楽祭には福井中学校と合同で参加したいと考えます。また、リモートを活用すれば遠距離の小規模校との交流も可能ですので、実現したいと考えています。

令和5年度学校評価 参考意見

保護者・学校協議会委員

成果・反省・課題・ご意見

- ・全町運動会では生徒たちが自らすすんで行動する姿が見られ、素晴らしいです。
- ・楯町中通信の本文の文字が読みづらいので行間や文字の間隔を工夫してほしい。
- ・学校行事のすべてには参加できていないが、今年度は特に校長先生をはじめ、全ての先生方が生徒や保護者への熱い思いが伝わり、地域との関わり面で素晴らしい実践ができたと思います。
- ・生徒の挨拶が気持ちよく、元気をもらっています。地域の方も喜んでいます。
- ・命を守る防災安全教育が小学校と連携できていて素晴らしいです。
- ・部活動に真剣に取り組む、市や県大会でも練習の成果が出ているように思います。
- ・授業は先生と生徒が一体となって楽しく和やかに展開されています。
- ・登下校の運転(自転車)では集中し、交通事故に巻き込まれないように十分注意してほしい。
- ・生徒さんと地域の人達がもっと触れあう機会を設けられるような行事があるといいと思います。
- ・佐藤タイジさんのような素晴らしい方をもっと呼んで頂き、生徒さんや地域の人達にも大きな刺激を頂けたらと思います。
- ・地域の少子高齢化で生徒数の激減により、阿南市の学校の合併の危機で、十分な検討が必要である。地域のために学校はなくてはなりません。個人生徒を考える時、合併も選択肢の1つでは。地域で生きる生徒の育成と将来を見据えた教育をお願いします。